

平成24年度
本市の
財務書類4表を
解説します。



平成24年度 天理市財務書類4表 を公表します

【財政課】

本市では予算や決算などの財政状況を公表しています。平成24年度決算については2・3ページに掲載していますが、その年度の現金の動きが分かりやすい反面、これだけでは市の資産や、借入金残高などの情報、行政サービスの提供に要した費用の情報を把握することができません。

そのため本市では、決算書類とは別に企業会計的な手法を取り入れた普通会計（※1）の財務書類（貸借対照表、純資産変動計算書、行政コスト計算書、資金収支計算書）を作成しました。ここでは、これらの書類を使って別の角度から本市の財政状況をお知らせします。

（※1）普通会計とは一般会計に住宅新築資金等貸付金特別会計と土地区画整理事業特別会計を加えたものです。

①貸借対照表

（平成25年3月31日現在）

貸借対照表は左側（借方）に資産の部、右側（貸方）に負債の部と純資産の部で構成されています。これにより、行政サービスを提供するための資産や、返済しなければならない債務が、年度末時点でどれだけあるのかなどを知ることができます。

左側（資金を何に使ったのか）

■ 資産の部 ■

1. 公共資産 611億2446万円

（道路や学校などの資産に使われたお金の総額）

2. 投資等 30億6582万円

（関係団体への出資金や基金など、たくわえているお金）

3. 流動資産 22億7772万円

（現金・預金、未収金など現金やすぐに現金化できるものなど）

資産合計 664億6800万円

右側（資金をどこから調達してきたのか）

■ 負債の部 ■

1. 固定負債 267億8248万円

（資産形成のために借金しているお金など）

2. 流動負債 31億2308万円

（借金のうち平成25年度の返済予定分など）

負債合計 299億556万円

■ 純資産の部 ■

純資産合計 365億6244万円

（道路や学校など建設に使った資金のうち、国・県からの補助金や税金など）

負債・純資産合計 664億6800万円

家計に例えると・・・

（市民1人当たりの貸借対照表）

資産の部	負債・純資産の部
1. 公共資産 90万6138円 （住宅・土地）	1. 固定負債 39万7036円 （住宅ローンの残高など）
2. 投資等 4万5449円 （定期預金）	2. 流動負債 4万6298円
3. 流動資産 3万3766円 （現金、普通預金）	純資産合計 54万2019円 （住宅・土地に対して今までに支払ってきた費用）
資産合計 98万5353円	負債・純資産合計 98万5353円

②純資産変動計算書

（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部に計上されている金額が1年間でどのように変動したかを表しています。

期首純資産残高 407億6379万円

期末純資産残高 365億6244万円

純資産増減額 △42億 135万円

内訳	純経常行政コスト	△193億8656万円
	一般財源	147億 199万円
	補助金など受入れ	44億2720万円
	その他	△39億4398万円

- ・貸借対照表の純資産の部は、これまでの世代の負担分を表し、平成24年度末の純資産は365億6244万円となっています。
- ・期末残高から期首残高の差額が当該年度の増減額になり、純資産増減額は42億135万円の減少となりました。

大幅な減少となったのは、天理市土地開発公社解散に伴う求償権の放棄や資産の評価替えなどにより、資産が減少したことによるものです。